

- 1 審議会名 安曇野市食育推進会議（第3回）
- 2 日 時 平成31年2月4日 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 会 場 本庁舎 共用会議室305
- 4 出席者 本郷会長、堀内副会長、中田委員、豊田委員、福島委員、平林委員、堀内委員、水野委員、丸山委員、田島委員、保高委員、渡邊委員
- 5 市側出席者 高橋保健医療部長、古畑健康推進課長、中澤センター長、久保田課長補佐、小松管理栄養士、斉藤管理栄養士、芝原歯科衛生士
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成31年2月4日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 保健医療部長あいさつ
 - (4) 協議事項
 - ① パブリックコメントの結果及び安曇野市食育推進計画（第3次）（案）について
 - ② 安曇野市食育推進計画（第3次）概要版（案）について
 - ③ その他
 - (5) 今後の日程
 - (6) 閉会
- 2 審議概要
 - ① パブリックコメントの結果及び安曇野市食育推進計画（第3次）（案）について

（会 長）「学校給食における市内農産物を利用する割合が低すぎるのではないかとあるが、一般的にはどうか、低いのか。」

（事務局）調べてみる。

（委 員）農産物に関して、給食用価格の設定はできるのか。一般的な価格なのか、給食用としての価格で購入することはできるのか。

（事務局）農政や学校教育に確認したいと思う。計画案には反映しないが、今後地元産の食材を使うよう推進していくということ。

（委 員）可燃ごみの3割が生ごみというのは、3割の中のどのくらいが一般家庭で、どのくらいが飲食店なのか。そういったことに対し、市で指導できるのか。

（会 長）この3割というのは多いのか、少ないのか。多ければ少なくしなければならない。

（委 員）生ごみの中に残飯もあると思うが、大根1本の場合、丸ごと全部使うか、皮のようなものを捨てるのか。素材の扱い方でもちがうと思う。残さないように使えるような方法を考えていくことも1つだと思う。

（委 員）家族に年寄りがいるが、同じものを買ってきて、期限が近くなって食べきれなくなるといったことがある。安曇野市では、リサイクルのようなことをやっている。そういったこともここにいれてもいいと思うが、どうか。

（事務局）課題が違ってきってしまうと思うので、ご意見としてお聞きし、今回の計画としてはこういった形で載せていきたい。

（委 員）意見ではなく現状だが、食生活改善推進協議会の会員の数は、高齢化と新しい入会がないため、だんだん減っている。ただ、数がいればよいというものではなく、少人数でもやる気がある方ならいい。会員の知識を向上するために教育面も充実させなければならないという課題もある。

（委 員）食生活改善推進協議会の養成講座は、以前はあったのか。

（委 員）結果的には参加する人がいない、ということで、最終的には平成30年度から廃止に

なった。

- (会 長) 小中学生の体格について、安曇野市の場合はむしろ肥満の数字が高い感じだ。こう
いったことはワンポイントでみるのではなく、2～3年、3～4年後にどう動いて
いくか。肥満が増えていくようであれば、その教育をしていかなければならないと
いうこともでてくる。
- (事務局) 年度ごとにとっていて、対象もかわるので、経年をみていきたいと思う。
- (会 長) 家族一緒に食事をする家庭は何%あるか。
- (事務局) 計画のP12にあるが、家族全員というとは20%くらい、家族のどれかと一緒にというこ
とをふまえると5割を超えている。
- (会 長) 「弁当の日」は、他の県内でやっているところはあるのか。
- (事務局) 県内でやっているところはある。
- (会 長) 歯科健診で治療完了の用紙を持ってくる割合が20%というのは、家庭に伝わってい
ないということか。
- (委 員) ここにでてくる治療の勧告の用紙だけでなく、「歯並びのことで相談に行った方が
いいですよ」「むし歯になりかけの歯があるので相談に行った方がいいですよ」「ブ
ラッシングがたりないので相談にいった方がいいですよ」といった通知も出してい
る。
- (委 員) 相談に関しても歯科医院では記載して返している。
- (委 員) 治療中の場合は戻ってこないことが多い。
- (委 員) 治療勧告用紙も歯科健診が終わると渡すが、1学期末、2学期末に「健康の記録」
として、保護者に身長や体重、内科健診の結果など、記録が一覧になったものを渡
している。「むし歯があります」とか、「歯並びについて相談してください」という
記載もして、保護者の方にも見てもらうようにしているが、本校では20%というの
が現状で、なかなか保護者の方に啓発しても難しいというのが現状。
- (委 員) 親が無関心なのか、他に理由があるのか、経済的なことなのか、時間的なことなの
か。ちょっと調べてみないと次のステップにいかない。
- (委 員) 経済的なことは改善されてきていると思う。8月から、月に1回500円で受診でき
る。
- (委 員) 部活で遅くなったりして、行くことを忘れてたり、痛みがなければそのまましてい
たり。
- (会 長) 学校では何か良い対策を考えているか。
- (委 員) 基本的には、保護者の方に届く「保健だより」や「健康の記録」で啓発、また生徒
自身が自分で歯科に行かなければならないことに気づいてもらうよう、生徒会を通
して生徒に発信している。生徒会ではかなり力をいれているが、なかなか結果に結
びついていない。
- (会 長) 歯科の先生に、直接生徒のところで話をさせていただくとか、先生に言ってもらうと
だいぶ違う、と聞いたことがある。
- (事務局) 引き続き学校の方からも受診勧奨を続けていくということでもあり、学校へも歯科
衛生士が歯科保健指導に出向く機会もあるので、児童生徒へのPRができると思う。
- (会 長) 若年者健診の効果は出てきているのか。
- (事務局) 健診直後に、歯科衛生士が歯科指導をしている。個人に合わせてそれぞれの課題に
ついて話をしている。
- (委 員) 共食ができない家庭など、さまざまな家庭状況がある中、行政は関われるのか。
- (事務局) こういうご意見があったということで、それに対しては計画には反映しないが、食
育計画の中では、どのような生活スタイルであっても、自分で食を選んでいかれる
ように力をつけるようにさまざまな機会を通じて広く周知していきたいという意味
で、このような回答にした。

② 安曇野市食育推計画（第3次）概要版（案）について

- (会 長) 表紙の説明文の「営むこ」のところを改行した方がいいと思う。
- (事務局) 改行する。
- (会 長) 「安曇野市で特に力を入れてやっていること」ということはないか。

(事務局) 個を大切にしていこうということは、すべてを通して力を入れている。歯科口腔保健の関係はかなり力を入れてやっており、どのライフステージにも計画の中にいれていることも特徴。

(会 長) 安曇野市では特に歯科口腔保健をやっているなど、どこかに見えるとすばらしいと思う。

(事務局) 検討したい。

(会 長) 安曇野市の食育計画はここが違うといったものがみえないとどこも同じという感じになるので、わかりやすく強調していただければいいと思う。

(事務局) 検討する。

(委 員) 質問だが、「子どもの頃から適正体重を維持しよう」とあるが、1歳から6歳の肥満や、やせの割合はどうか。

(事務局) データはあるので、乳幼児健診の結果を分析してみればわかる。

(委 員) 大きくなってからの指導よりも、小さい時から良い習慣を身につけることが大切だと思う。

(事務局) その点は重要視していて、健診等で体重測定を行い、成長についての確認をしている。

③ その他

(事務局) 廃棄物対策課で作成したコースターについて紹介。

※会議概要は、原則として公開します。